

Continue

YUTACOLGY'S communication press magazine

vol. **38**
2026 新春号



Bing image creatorを使用して制作したAI生成画像です

2026テーマ **超越と伸長**

インタビュー対談 **挑戦と発見で人生を輝き続ける**

梶山女学園大学 外国語学部 英語英米学科教授 芝垣 亮介様

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は大変お世話になり誠に有難うございました。
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

2026年を迎えるにあたり

昨年弊社は、テーマ「しなやかな挑戦」のもと、不確実・非連続性の時代において目指す2030ビジョン「**Make Tomorrow Go Better—今日よりも良いと思える明日を創る—**」を発表し事業を行ってまいりました。

安全・安心については、当社外報でも毎年2回に分けすべての内容をご報告させていただいておりますが、災害事故やお客様からのご指導も頂き、今後も災害ゼロを目指し、皆様にご安心して頂けるよう持続的な対策と改善活動を続けていきます。

人財につきましては、お客様に切れ目ない高品質サービスをご提供するため、昨年は清掃クルーの採用強化、バイク便による清掃巡回人員の確保、日本語対応可能な外国人の採用、また多様な人財の活躍の点から、積極的障がい者雇用に取り組みました。

営業活動につきましては、社会のコスト構造変化による価格改定のご相談にご対応賜り、お客様各社様に心より感謝申し上げます。また、BCPの観点もあり、昨年1月に東京オフィスを開設し関東地域でのビル環境事業を開始しました。また、新規事業としてウェルビーイング事業部を立ち上げ、産学連携事業とセミナー事業を開始致しました。

今年2026年は、テーマ「**超越と伸長**」のもと事業を推進してまいります。社会構造や文脈の変化が加速し、益々不確実性と非連続性の時代に突入することが予想されています。そこで弊社は、創業の原点（伊勢湾台風復興への貢献のため、人々のウェルビーイングの根幹を担う業を開始）を根本精神とし、「超越と伸長」つまり弊社に既に内在するものだけではなく、可能性を追求し、本質的な在り方・様態として成長することを目指します。

具体的には全社方針として4つ掲げました。①**安全・品質の確保** ②**売上・利益の増大** ③**社会的価値の向上** ④**DXの推進**、を柱として多くの方々により丁寧なサービスをご提供させていただき、更にお役にたてるよう努力してまいります。本年も引き続きご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



ユタコロジー株式会社
代表取締役 酒井秀京

2026年テーマ **超越と伸長**

4つの方針

① 安全・品質の確保

② 売上・利益の増大

③ 社会的価値の向上

④ DXの推進

2030ビジョン

「**Make Tomorrow Go Better—今日よりも良いと思える明日を創る—**」会社になるため、本年度は下記4点を基本方針とし、ステークホルダーの皆さまに貢献してまいります。

①安全・品質の確保

すべての人に安心いただけるサービスの提供

「安全対策」「教育と育成」「多様な人財の活躍」の3つの柱を推進いたします。

安全対策 … 安全三大運動の徹底を基本とし、法令・手順書順守やBCP対応などを強化します。

教育と育成 … クリーンクルーには階層別研修やOJTにより品質向上とデジタル対応を、内勤社員へは各種資格取得、IT・AI研修等をつうじてのサービス向上と生産性向上を推進します。

多様な人財の活躍 … 昨年までと同様に人員不足への対応が求められています。時短勤務者、外国人、障がい者など採用属性を拡大します。

②売上・利益の増大

非連続性の時代でも成長する

東海エリアでの着実な主力事業の成長に加え、新たに挑戦してきたマーケット（地域・市場）も収益化フェーズとなり、さらなる顧客開拓をおこなう強固な基盤構築を推進いたします。

具体的には、お客様のさらなるご要望にお応えし、ビル環境事業では関東エリアでの営業強化やビルメンテナンス関連サービスの実施。

ウェルビーイング分野での着実な収益化を推進いたします。

③社会的価値の向上

SDGsとウェルビーイング（心身の健康と社会的つながり）

昨年までの脱炭素やジェンダー平等をはじめとするSDGs推進を継続しつつ、本年度より健康経営認証の取得を軸とし、従業員の心身の健康ならびに社会的なつながり創出を推進いたします。

また、産学連携をはじめとするウェルビーイングネットワーク構築を強化し、WX（ウェルビーイングトランスフォーメーション）を推進してまいります。

④DXの推進

あらゆることをデジタルに置き換える思考

2024年からスタートしたDX推進は、協力企業の皆さまにもご協力をいただきながら社内外業務のペーパーレス化を主軸とするPhase1が昨年で完了しました。

本年は業務のIT・AI活用やスタッフ同士のデジタルコミュニケーション、ノーコードツールを活用した一部業務の自動処理を導入し、労働生産性の向上とBCP対策の強化を推進いたします。

ご挨拶 ユタコロジー株式会社 顧問 鷲見 直

略歴：中部電力（株）、中電不動産（株）を退社後、令和6年4月より当社顧問に就任

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は多大なるご支援とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。
私どもは本年を「超越と伸長」の年と掲げ、これまでの枠にとらわれない発想でサービスの質を磨き上げ、より確かな成長を目指してまいります。
さまざまなウォンツやニーズにお応えするため、新たな取り組みや改善にも積極的に挑戦し、皆さまの信頼にお応えできるよう努めてまいりたいと考えております。
本年も引き続き変わらぬご愛顧を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



テーマ

挑戦と発見で 人生を輝き続ける

2030ビジョンを掲げ

「Make Tomorrow Go Better - 今日よりも良いと思える明日を創る -」
を合言葉に「建物と人のキレイと健康」=ウェルビーイングに寄与する
企業を目指している当社。

本年は、国際的なウェルビーイングの定義にある

“社会とのつながり”に焦点をあて、企業経営のヒントを学んでまいります。

今回は、大学と地域社会との連携について梶山女学園大学芝垣教授に
お話を伺いました。

“知る”ではなく“理解する”

酒井 この度はインタビューの機会をご提供いただきありがとうございます。
ございます。

弊社はお客様のウェルビーイング（心身の健康と社会的なつながりが完全に満たされている状態）を支援する事業をおこなっております。貴学とも産学連携でお世話になっていますが、ここ数年で「産学連携」という言葉も知られるようになってきたと感じております。芝垣教授の取り組みを教えてください。

芝垣 いろいろと携わっていますが、最近はビール及びワインの醸造、そして文字起こしアプリの開発を行っています。ビールやワインの醸造は、春日井のブルワリーやワイナリーさんと協働し、学生がぶどうを育てるところから収穫、加工、販売までかわるプロジェクトです。文字起こしアプリは、株式会社アイシンさんが開発された30ヶ国語以上に対応する「YY文字起こし」というアプリがあるのですが、こちらの動作評価をアイシンさんと学生が協働で取り組む授業を実施するとともに、私自身の研究チームで「YYシステム」を組み込んだコミュニケーションサポートのアプリ開発を行っています。

酒井 非常に面白い取り組みですね。しかしながら、お酒造りは一見外国語と直接関係なさそうですが、何故協働されているのでしょうか。

芝垣 言語と関係ないよねって、よく言われるんですよ（笑）。ただ、外国語学部というのは言語を学ぶことだけが目的の場所ではありません。むしろ自国のこと、自分の地域のことを理解し、それを海外に発信できる能力を育むことを目的としています。このビールプロジェクトでは、完成した製品をカナダの建国記念日のパーティでお披露目する機会をいただき、学生が大使の前で英語でプレゼンをしました。結果として、同パーティに参加の他企業さまからお声がけいただき、活動がさらなる広がりを見せています。

酒井 単なる知識ではなく“体験”を通じて生きた学びとする、ということでしょうか。

芝垣 そうですね。生きた学びと言っても大学で専攻している内容をそのままの形で活かすというのは難しいことです。例えばワイン造りでは、農家の方々と一定期間ともにかかわらせていただくなかで、ぶどう（作物）を育てることだけでなく、いちごやさつまいもの栽培、ジャム作りといったぶどう以外の作業も行います。これはぶどうだけでは収穫後仕事が無くなってしまい、従業員の年間を通じた安定した雇用が困難になるため、別の作物を育てるといった新たな労働を生み出す必要があるからです。

最近の農家さんは六次産業（農業・林業・漁業などの第一次産業が、加工業（第二次産業）や流通・販売・サービス業（第三次産業）までを一体的に行う取り組み）が増えていると言われますが、学生はそれを肌で感じて理解することができました。

兵庫県西宮市出身。ロンドン大学にて言語学博士修了。梶山女学園大学地域連携センター委員。2015年からはドーナツの穴の研究を開始。ドーナツの穴制作委員会委員長を務める。
梶山女学園大学 外国語学部 英語英米学科教授
芝垣 亮介様

英語英米学科・国際教養学科 ワインPJ
<https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/news/ogo7gd0000008z4.html>

FabCafeGlobal
<https://fabcafe.com/jp/magazine/nagoya/kyoto/report-inclusive-roundtable-01>

梶山女学園大学:大学広報
<https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/news/ogo7gd0000000ahyz.html>

産学連携例:アイシン×梶山 コラボ授業の計画

【授業テーマ】AIの活用とインクルーシブな社会の在り方

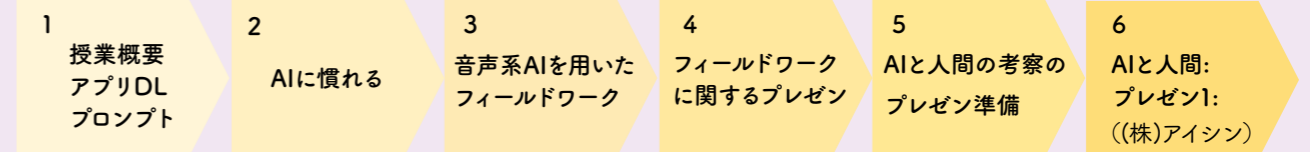
【授業の到達目標】AIの種類を知り、利用の仕方を理解する&社会の包括性に繋がるようにAIを活用できるようになる。

【授業内容】

音声認識ツールやAIの新たな可能性を探り、その結果として、卒業後のキャリアの中で包摂性が何を意味するのかを学生が自分自身で理解し学ぶ。

★学びのポイント

授業に関わる全ての人たち（学生、企業のスタッフ、教員、ゲストスピーカー）が主体的に議論することで、まだ誰も気づいていない音声認識ツールやAIの可能性を掘り起こすと同時に、そういったツールの可能性や存在意義を追求することで浮き彫りになる人間の存在や思考の価値、社会のあり方やその方向性を考察し、包摂性という現代のキーワードの本質に迫る。



アプリ開発の様子（向かって左から、ろう者、手話通訳者、手話通訳者、芝垣教授）



授業内学生プレゼンの様子

これからの時代は「超域」がキーワード

酒井 一連の社会活動を通じて、どう学ぶか、という感覚を養うのも大切ということですね。

芝垣 おっしゃる通りです。私が以前、客員准教授を務めていたマサチューセッツ工科大学(MIT)を例にあげると、近年「超域」という考え方での研究が進んでいます。経済学と気象学のコラボがあったり、生物学と電子学のコラボがあったり。現在世の中で発生している事象（問題）は、1つの分野における理論や知見では解決できないことが多く、専門分野の垣根を越えたスペシャルチームを組織するわけです。

酒井 非常に面白いですね。昨今、経済界でもVUCAや非連続性の時代、つまり誰も先行きは見えず過去の延長線上に必ずしも約束された未来があるわけではないと言われています。まさに「超域」が必要な課題だと思いました。

芝垣 これまでの常識を疑って、正解は1つではないからこそ、企業内であれば部門の垣根を越えたり、企業や業界の枠を越えたりして答えを探していかなければならないことが多いのではないのでしょうか。このような考えから産学だけでなく、地域の課題解決を産官学で目指す取り組みも増えていますから、「超域」で立ち向かっていく重要性は益々高まっていくと思います。

酒井 そういった観点からみると、一見自身の専攻に関係がないように思える分野で体験を通じて学ぶことは非常に意義がありそうですね。



言語学者として「ろう者と聴者がつむぎだす診療現場へ」（2024年2月27日@FabCafe Nagoya）で、ろう者のコミュニケーション課題解決を目指す研究プロジェクトの報告を行う芝垣教授

芝垣 これからの時代に活躍できるのは、このような感覚を有し、リーダーシップを発揮しながら失敗を恐れずどんどんチャレンジできる人材だと思います。大学としては、地域社会の方々と連携しながら優秀な人材を育てていければと思います。

酒井 本日はとても勉強になりました。お忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。

ユタコロジー 事故 & 異常発見 & クレーム報告

【2025年5月16日-2025年11月15日】

ユタコロジーは「快適さの維持・進化・創造」をミッションとしております。
当社は、社外報をつうじて年2回、直近半年間に発生した事故や
お客様からご指摘・ご指導いただいた事項を関係者の皆さまへご報告させていただいております。

発生月	内 容	概 要
2025年 5月	お客様からのクレーム	日常清掃時、居住者様がステーションへゴミを出されようとした際に、分別の方法についてクリーンクルーが高圧的な態度を取ってしまいクレームをいただきました。
6月	自社車両の破損	朝出勤したところ、駐車場に駐車していた社有車のワイパーが折られていた。
	車両事故(自損)	バックで駐車しようとした時、建物の壁にぶつけてしまった。
7月	お客様からのクレーム	定期清掃時、作業以前にしておくべき「お知らせ」書面の掲示を失念してしまった。
	お客様先設備汚破損	日常清掃時、クリーンクルーが掃除機掛け中に態勢を崩し、ブラインドにもたれかかってしまい、ブラインドの羽が折れてしまった。
	業務中災害	日常清掃時、熱中症の疑いを自覚したクリーンクルーが控室で休憩。立ち上がった際に足首を捻ってしまった(診断の結果、熱中症と骨折であった)。
8月	車両事故(自損)	定期清掃時、駐車場に車をバックで駐車しようとしたところ、すぐ隣にあったゴミ集積所のブロック塀と車両の左後方が接触してしまった。
	お客様からのクレーム	定期清掃終了後、お客様先に腰袋を忘れてしまった。
9月	お客様からのクレーム	定期清掃終了後、協力会社がお客様施設の鍵を持って帰ってしまった。
	お客様先設備汚破損	定期清掃時、事務室の出入り口上部にあるアクリル製の看板にモップの柄を当ててしまい落下。破損させてしまった。
	お客様からのクレーム	日常清掃時、居住者様が共有部分でソファの埃落としをされていた際に、クリーンクルーが高圧的な態度を取ってしまいクレームをいただきました。
10月	車両事故(自損)	お客様先訪問時、有料パーキングを利用し、駐車場に車をバックで駐車しようとしたところ後方壁面に車両の左後方が接触してしまった。
11月	通勤災害	クリーンクルーが最寄駅から就業先へ徒歩移動の際に転倒し、顔面を強打してしまった。

直近の半年間は、これまでになくお客様からクレームをいただいしまうこととなりました。
クリーンクルーを含めた社員全員に発生原因を共有し、再発防止のための特別教育を実施しました。
お客様のWell-beingの根幹を担う当社として、快適空間創造と事故・クレームゼロを目指し、改善に努めてまいります。
引き続きご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

ビルメンNEWS

第46回白土記念 B・Mソフトボール大会に参加しました！

10月13日(月・祝)、愛知ビルメンテンス協会の大きなイベントの一つである白土記念B・Mソフトボール大会が開催されました。当社からは市川、山本の2名が会員8社の合同チームである「心零(こしず)」の一員として参加し、走攻守において活躍いたしました。

※今大会は、豊明市勅使グラウンドで14チームが参加し、熱戦の末、ホームメックススターズ(ホームメックス(株))が優勝。会員同士の友好を深めました。

〈チーム心零 参加企業〉

(株)クリーンスタイル、シーバイエス(株)、太平ビルサービス(株)、(株)トップワーク
(株)名鉄クリーニング、(株)リンデンクリーナー、(株)リンレイ ※五十音順 の7社に当社が加わりました。



Well-being ニュース

空間と人のキレイと健康へ寄与する事業を推進するユタコロジー。
Well-beingな取り組みをお知らせいたします。

REPORT 1 創業記念日・永年勤続表彰

ユタコロジーが創業して66年目となる創業記念日だった11月1日、代表取締役 酒井が全社員に向けて講和をおこないました。

創業からの想い、先人への感謝を軸に、「快適さの維持・進化・創造」という使命、さらに2030ビジョンに向けての会社の在り方など、様々な価値提供に挑戦する想いや方針を語りました。

また、11月1日は、当社で長年にわたり勤務いただいているスタッフの永年勤続表彰をおこなう日でもありました。

今年は勤続30年1名、20年2名、10年10名が表彰対象者となり、代表取締役 酒井から表彰状を授与したり、日頃の感謝を込めて書いた手紙をお送りしたりするなどお祝いをいたしました。

今後も一人でも多くのスタッフに一日でも長く働いていただけるよう、働きがいのある職場づくりに努めてまいります。



敬称略

勤続年	入社年月日	氏名
30	1995年3月22日	加藤 悦子
20	2005年4月16日	島田 伊津子
20	2005年4月16日	江藤 豊子
10	2015年1月16日	清水 聡希
10	2015年1月19日	岩本 宮子
10	2015年2月9日	杉浦 満奈美
10	2015年2月24日	榊原 みゆき

敬称略

勤続年	入社年月日	氏名
10	2015年3月3日	荒巻 たづえ
10	2015年3月23日	稲田 正子
10	2015年5月27日	相馬 清美
10	2015年5月25日	渡邊 榮子
10	2015年6月23日	津田 由香
10	2015年7月1日	河合 玲子

REPORT 2 セントラル防災様セミナー開催

10月2日(木)セントラル防災株式会社様(名古屋市中川区)でWell-beingセミナー「月経痛体験会」を開催いたしました。



今回のセミナーは、現場配属される女性社員様を複数名採用されたことを機に、女性にも働きやすい職場づくりを推進していくキッカケとする目的で、経営層から一般職までの男女合同参加形式にてご依頼いただきました。

月経痛体験会をつうじてのグループワークでは4つのグループに分かれて課題に対する発表をおこない、今後の職場環境や制度面での改善策を協議しました。

開催した内容をもとに、今後の社内制度設計へ活用いただけるということです。

皆様のWell-being、ならびに女性活躍のサポートが出来るよう、今後も啓発活動を続けてまいります。



セントラル防災様HP

REPORT 3 「Age-Well HOSHIGAOKA」へ協賛・ステージ出演しました

本イベントは、星ヶ丘という“若者とアクティブシニアが共存する街”を舞台に世代を超えた挑戦とつながりを創出することを目的に開催された、中日新聞社と株式会社AgeWellJapanの共同主催による地域連携プロジェクトです。

当社はイベントの趣旨に賛同し、「ユタコロジー株式会社presents【ロコトレで体ポッカポカ!楽しくキラキラした人生にするためのエクササイズ】」と題したステージをプロデュースしました。



音と動きのパフォーマー“理学療法士のチャンミカ”さんと一緒に当社社員もステージに上がり、来場者の方々にむけ一緒にパフォーマンスをおこないました。



イベント当日は来場者の方々と一緒に休憩をはさみながら45分間のダンスをおこない、人生100年時代をキレイに、健康に過ごしていただくための発信をおこないました。

当社スタッフも出演者として、来場者と一緒に楽しみ、とても素敵な1日となりました。

REPORT 4 SDGsフェスティバルにブース出展しました



その中で当社は、ウェルビーイング、DE&I、女性活躍コンテンツとしてフェムケアグッズの展示や進行中のプロジェクト紹介をおこないました。

普段目にすることのない商品や一風変わったプロジェクトに来場者の方々からは大きな関心をいただき、盛況のうちに出展を終えることができました。

地域の皆さまのWell-beingに寄与できるよう、今後もお役立ち情報を発信してまいります。

11月21日(金)から来年1月31日(土)まで開催されている「第6回SDGsフェスティバル」のオープニングイベントが11月21日(金)10:00-15:00に開催され、当社は名古屋東京海上日動ビルディング様のブース展示に出展いたしました。

ブース出展では、名古屋を中心にSDGsの活動を積極的に推進されている企業がたくさん参加されており、企業間の交流や一般来場者の方々と情報交換をおこないました。

